

スクール・ミッション

期待される社会的役割、目指すべき学校像

東予唯一の中等教育学校として、6年間にわたる体系的で質の高い教育活動を推進します。

また、地域や専門機関との連携や協働を通して、自ら考えて行動できる力を培うとともに、グローバルな視野を持ち、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。

スクール・ポリシー

入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針

グラデュエーション・ポリシー

このような生徒を育てます

- 自分の個性(好きなこと、得意なこと、優れていること)を知り、努力して伸ばそうとする人を育てます。
- グローバル社会を生きるために必要な人権感覚を持ち、自分と他の人をともに認め、共により良い社会を築こうとする人を育てます。
- 持続可能な社会づくりに貢献するために必要な学力や教養を身に付け、行動力や創造性をもった人を育てます。

カリキュラム・ポリシー

このような学びを行います

- 前期課程(中等部)では、基礎学力の定着を図り伸ばすため、きめ細かい習熟度別講座で学習します。あわせて「総合的な学習の時間」などでの多面的な体験を通して、卒業後のビジョンを描きます。
- 後期課程(高等部)では、「ヒューマニティーズコース(文科系)」「サイエンスコース(理科系)」「スポーツコース」に分かれて、卒業後のビジョンの実現を図ります。
- 3年生(中3生)と4年生(高1生)が合同して行う「総合的な学習/探究の時間」などの専門的で継続的なプログラムによって、自分の個性を知り、伸ばします。
- 前期課程から参加できる大学や官公庁、企業、NPO等との提携事業によって、専門的で体験的な学習をします。そして身に付けた知識を行動につなげる力を養います。
- 身に付けた知識や経験を持続可能な社会づくりに生かすことができる行動力や創造性を培うために、各種のコンテスト、コンクールへの参加、出品を積極的に行います。また、各種検定を受検して資格を取得します。
- 幅広い年齢層の生徒がともに活動する学校行事や部活動を通して協調性を養い、自分と他の人をともに認め、共により良い社会を築こうとする意欲を培います。

アドミッション・ポリシー

このような生徒を求めています

- 自分も他の人も大切にできる人
- 6年間の学校生活のなかで、自分が好きなことや得意なことを伸ばそうとする意欲をもっている人。
もしくは、自分が好きなことや得意なことを見つけないと考えている人
- 学習や学校行事、部活動などに積極的に取り組むことができる人
- 異なる国の文化に関心をもち、国際交流などに意欲的に取り組むことができる人